

平成 29 年度

自治会アンケート調査結果について

平成 30 年 3 月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

少子高齢化や市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は厳しくなっていますが、その一方で、東日本大震災においては地域住民相互の“絆”がお互いを支え合う大きな力になっているなどその大切さが改めて認識されています。

本市では「共働」を理念に掲げ、第6次総合計画の推進を図ることとしており、安全・安心な地域社会づくりをしていくうえで自治会など住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図っていきたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の自治会活動の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的としています。

2. 調査方法

「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、平成26年度の調査内容の確認と回答を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を52問とし、回答を依頼。

3. 実施期間

平成29年7月3日（月）～14日（金）（回収完了日：平成29年10月26日）

4. 調査対象

市内188自治会（各自治会長に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 188自治会

回答数 188自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配布するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問24を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

目 次

基礎調査結果	1～4
--------	-----

アンケート結果

会長や役員について

問 1. 会長の年齢について	5
問 2. 会長歴（通算）について	5
問 3. 会長の選任方法について	6
問 4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について	6
問 5. 会長の任期について	7
問 6. 役員会の開催頻度について	7
問 7. 自治会業務の引継ぎについて	8
問 8. 自治会業務の引継ぎの方法について	8
問 9. 会長及び役員の報酬・謝礼について	9～10

年会費について

問 1 0. 年会費の徴収について	11
問 1 1. 年会費の減額について	11～12
問 1 2. 年会費の徴収方法について	12～13

会員名簿について

問 1 3. 会員名簿の作成について	13
問 1 4. 会員名簿の更新時期について	13
問 1 5. 会員名簿の作成方法について	13～14
問 1 6. 会員名簿の取り扱いについて	14

自治会館について

問 1 7. 自治会館の有無について	14
問 1 8. 自治会館の所有状況について	15
問 1 9. 自治会館の建設時期について	15
問 2 0. 自治会館運営上の課題について	16
問 2 1. 自治会館を所有していない自治会について	16

自治会活動について

問 2 2. 自治会活動について	17～18
------------------	-------

問 2 3. 自治会を運営する上での悩みについて	18
問 2 4. 親交がある自治会について	19～22
問 2 5. 自治会での課題解決について	22
問 2 6. 自治会の合併について	22

自治会への加入について

問 2 7. 自治会への加入率について	23
問 2 8. 居住区域に住んでいない会員がいるかについて	23
問 2 9. 加入促進の取り組みについて	23～24

自治会の連合組織について

問 3 0. 地区連合組織（自治会の連合体）への加入について	24
問 3 1. 地区連合組織の必要性について	24
問 3 2. 地区連合組織の役割について	25

地域づくり協議会等について

問 3 3. 市民センター事業について	25～26
問 3 4. 地域づくり協議会等に期待することについて	26

広報等配布物の配布状況や取り扱いについて

問 3 5. 広報等配布物の範囲について	27
問 3 6. 広報の配布方法について	27
問 3 7. 広報以外の配布物について	28
問 3 8. 広報等配布物の取り扱いに関する意見・要望について	28

防災について

問 3 9. 自主防災組織について	29
問 4 0. 防災訓練について	29
問 4 1. 市のメール配信システムについて	29～30
問 4 2. 自治会区域内の危険な場所について	30～31

自治会を支援する制度について

問 4 3. 自治会振興交付金について	32
問 4 4. 自治会元気づくり応援補助制度について	33
問 4 5. 自治会館建設事業費補助制度について	34
問 4 6. 自治会コミュニティ再生応援事業の利用について	35
問 4 7. 集落支援員活動事業の活用について	36
問 4 8. 地域づくりリーダー研修会への要望について	36～37

問 4 9．新たに自治会を応援する支援制度等の意見・要望について・・・	37
-------------------------------------	----

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問 5 0．自治会のシンボル・資源・誇りについて・・・・・・・・・・	38～39
問 5 1．自治会内の課題について・・・・・・・・・・	40
問 5 2．その他自治会に関する要望や意見などについて・・・・・・・・	41

基礎調査結果

自治会の構成

自治会加入の状況	H29	H26
全世帯	13,065	13,331
自治会加入世帯	10,254	10,581
自治会非加入世帯	2,867	2,745
加入率	78.5%	79.4%

※「全世帯」は住民基本台帳による世帯数(各年12月末現在)

全13,065世帯のうち、「自治会加入世帯」が10,254世帯、「自治会非加入世帯」が2,867世帯、「加入率」は約8割となりました。平成26年度の前回調査より、「自治会加入世帯」が減少し、「自治会非加入世帯」が増加したことにより、「加入率」が低下しました。

① 班数

班数	H29		H26
	自治会数	割合	割合
1～5 班	96	51.0%	54.2%
6～10 班	68	36.2%	35.8%
11～15 班	12	6.4%	6.8%
16 班以上	12	6.4%	3.2%
計	188	100%	100%

自治会の構成について、平成26年度に実施した前回調査時から「1～5班以下」の割合が減少し、「6～10班」、「16班以上」の割合が増加しています。

② 会員世帯数

会員世帯数	H29		H26	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50 世帯	105	55.8%	105	55.3%
51～100 世帯	61	32.4%	61	32.1%
101～150 世帯	15	8.0%	16	8.4%
151～200 世帯	5	2.7%	5	2.6%
201 世帯以上	2	1.1%	3	1.6%
計	188	100%	190	100%

会員世帯数について、前回調査時から「101～150世帯」、「201世帯以上」の自治会数が減少しています。

③ 会員数

会員数	H29		H26	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50 人	32	17.0%	32	16.8%
51～100 人	45	23.9%	43	22.6%
101～150 人	36	19.2%	33	17.4%
151～200 人	24	12.8%	26	13.7%
201～250 人	22	11.7%	20	10.5%
251～300 人	10	5.3%	11	5.8%
301～350 人	3	1.6%	6	3.2%
351～400 人	4	2.1%	4	2.1%
401 人以上	8	4.3%	8	4.2%
未記入	4	2.1%	7	3.7%
計	188	100%	190	100%

自治会員数について、前回調査時とほぼ横ばいの結果となりました。

④ 65 歳以上のみの世帯（高齢者世帯）

65 歳以上のみの世帯	H29		H26
	自治会数	割合	割合
25 世帯以下	138	73.4%	70.0%
26～50 世帯	37	19.7%	20.0%
51～75 世帯	4	2.1%	2.6%
76～100 世帯	3	1.6%	1.6%
101 世帯以上	0	0.0%	0.0%
未記入	6	3.2%	5.8%
計	188	100%	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑤ 一人暮らしで 65 歳以上のみの世帯（独居高齢者世帯）

一人暮らしで 65 歳以上のみの世帯	H29		H26
	自治会数	割合	割合
10 世帯以下	141	75.0%	73.2%
11～20 世帯	32	17.1%	15.3%
21～30 世帯	3	1.6%	1.6%
31～40 世帯	1	0.5%	0.5%
41～50 世帯	0	0.0%	0.0%
51 世帯以上	1	0.5%	0.5%
未記入	10	5.3%	8.9%
計	188	100%	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑥ 65 歳以上のみの世帯の状況

65 歳以上のみの世帯の状況	H29		H26	
	世帯数	割合	世帯数	割合
65 歳以上のみの世帯の合計	3,406	33.2%	3,447	32.6%
65 歳以上のみの世帯の合計のうち一人暮らしの世帯	1,270	12.4%	1,174	11.1%
自治会加入世帯	10,254	－	10,581	－

※自治会加入世帯に対する割合

※各世帯数は自治会が把握している数

65歳以上の高齢者のみの世帯について、自治会加入世帯の約3割、一人暮らしの高齢者世帯数については、自治会加入世帯の約1割となっており、前回調査時より割合が増加しました。

自治会の組織体制の状況

組織体制の有無	H29		H26
	自治会数	割合	割合
有り	140	74.5%	76.3%
無し	21	11.2%	13.7%
未記入	27	14.3%	10.0%
計	188	100%	100%

組織体制	H29		H26
	自治会数	割合	割合
青年会のある自治会	60	42.9%	44.1%
婦人会のある自治会	76	54.3%	56.6%
子供会のある自治会	120	85.7%	84.8%
老人クラブのある自治会	74	52.9%	53.8%
その他	16	11.4%	11.0%

※組織体制があると回答した 140 自治会に対する割合

組織体制について、「有り」の割合は前回調査時より低くなっています。また、「子供会のある自治会」の割合が増加しています。その他として、「組合」などがありました。

会 計 年 度

会計年度	H29		H26
	自治会数	割合	割合
1月～12月	69	36.7%	36.8%
2月～1月	3	1.6%	2.1%
3月～2月	6	3.2%	5.3%
4月～3月	89	47.4%	50.0%
5月～4月	1	0.5%	0.5%
6月～5月	1	0.5%	1.1%
11月～10月	1	0.5%	0.5%
12月～11月	1	0.5%	2.6%
未記入	17	9.1%	1.1%
計	188	100%	100%

会計年度について、「4月～3月」、「1月～12月」の割合の合計が8割以上となり、ほとんどが会計年度のスタートを4月もしくは1月に設定しています。

地 縁 団 体 認 可 状 況

地縁団体認可状況	H29		H26
	自治会数	割合	割合
有	70	37.2%	33.7%
無	118	62.8%	66.3%
計	188	100%	100%

認可地縁団体として法人格を取得した自治会は、前回調査時から増加し70自治会となり、全体の3割以上が地縁団体に認可されています。

所 有 財 産

所有財産	H29		H26
	自治会数	割合	割合
有	61	32.4%	34.7%
未記入、不明	127	67.6%	65.3%
計	188	100%	100%

※下記の「宅地」、「山林」、「その他」のいずれかに回答している自治会を「有」としている。

所有財産の管理状況（61自治会中）

財産管理状況(61自治会中)	H29		H26
	自治会数	割合	割合
宅地(会館用地含む)	55	90.2%	93.9%
山林	31	50.8%	39.4%
その他	21	34.4%	30.3%

※「有」と回答した61自治会に対する割合。複数回答可

財産を所有している自治会のほとんどが「宅地（会館用地含む）」、半数が「山林」を所有しています。その他として、グラウンドや神社がありました。

アンケート結果

会長や役員について

問1 会長の年齢について

会長の年齢	H29		H26
	自治会数	割合	割合
20歳代	4	2.1%	1.1%
30歳代	0	0.0%	1.6%
40歳代	4	2.1%	0.5%
50歳代	16	8.5%	19.5%
60歳代	111	59.1%	55.3%
70歳代以上	52	27.7%	22.1%
未記入	1	0.5%	0.0%
計	188	100%	100%

会長の年齢について、前回調査時より「30歳代」「50歳代」の割合が減少し、「40歳代」、「60歳代」、「70歳代以上」の割合が増加しています。また、「60歳代」と「70歳代以上」の合計は8割以上となっています。

問2 会長歴(通算)について

会長歴	H29		H26
	自治会数	割合	割合
1年未満	44	23.4%	23.2%
1年以上3年未満	41	21.8%	26.3%
3年以上5年未満	33	17.6%	22.1%
5年以上10年未満	48	25.5%	17.4%
10年以上15年未満	16	8.5%	7.4%
15年以上20年未満	3	1.6%	1.1%
20年以上	1	0.5%	1.1%
未記入	2	1.1%	1.6%
計	188	100%	100%

会長歴(通算)について、前回調査時より「5年以上10年未満」、「10年以上15年未満」、「15年以上20年未満」の割合が増加し、「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」の割合が減少しています。このことから会長歴が長くなっていることが分ります。

問3 会長の選任方法について(複数回答あり)

会長の選任方法	H29		H26
	自治会数	割合	割合
推薦	89	47.3%	43.7%
役員の中で互選	50	26.6%	29.5%
輪番制	19	10.1%	7.9%
選挙	23	12.2%	13.2%
抽選	0	0.0%	0.5%
その他	11	5.9%	3.7%
未記入	2	1.1%	1.6%

※「割合」は188自治会に対する割合

会長の選任方法について、「推薦」が最も多く、その割合も前回調査時より増加し、4割以上となっています。また、「輪番制」の割合が増加している一方で、「互選」と「選挙」の割合は減少しています。その他として、「年齢順」や「総会決議」という回答がありました。

問4 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・事前に役員会を開き人選協議をしている。
- ・選挙で役員選出、その中で各自役職を決める。
- ・総会で役員を推薦し、役員において会長ほか役員を互選する。
- ・事前に会長が本人から了解を得る。
- ・総会出席者から推薦で決定する。
- ・役員5人が選任された年に毎年度の会長職を決めている。
- ・本年度より輪番制を導入した。
- ・年齢順で役員をしていない人をお願いしている。

会長や役員の交代を円滑に行うためにしている工夫について、「事前に役員会で協議をしている」が最も多くありました。

問5 会長の任期について

会長の任期	H29		H26
	自治会数	割合	割合
1年未満	3	1.6%	1.6%
1年	29	15.4%	14.7%
2年	127	67.6%	70.0%
3年	10	5.3%	5.8%
4年	1	0.5%	1.1%
5年以上	0	0.0%	0.5%
決まっていない	17	9.1%	6.3%
未記入	1	0.5%	0.0%
計	188	100%	100%

会長の任期について、「2年」の割合が最も高くなりました。8割を超える自治会が任期を1年～2年としていますが、問2の結果と照らし合わせると、任期を終了しても再度会長を務めている方が多いことが分かります。

問6 役員会の開催頻度について

役員会の頻度	H29		H26
	自治会数	割合	割合
毎月	39	20.7%	20.5%
隔月	30	16.0%	22.1%
半年ごと	20	10.7%	7.9%
その他	92	48.9%	37.4%
未記入	7	3.7%	12.1%
計	188	100%	100%

※その他(主な回答を抜粋)

- ・必要に応じて開催している。
- ・行事があるたびに開催している。
- ・年4～5回程度開催している。
- ・3ヶ月に1回開催している。

1年間の役員会の開催頻度について、「毎月」の割合は前回調査時と同様でしたが、「隔月」の割合が減少し、「半年ごと」、「その他」の割合が増加しました。その他として、「必要に応じて」「不定期」、「行事があるたび」などがありました。

問7 自治会業務の引継ぎについて

役員交代時の引継ぎについて	H29		H26
	自治会数	割合	割合
行っている	101	53.7%	59.5%
十分ではないが行っている	66	35.1%	32.1%
全く行っていない	15	8.0%	6.8%
未記入	6	3.2%	1.6%
計	188	100%	100%

役員交代時の引継ぎについて、「行っている」、「十分ではないが行っている」の割合は約9割であり、前回調査時と同様の結果になりました。

問8 自治会業務の引継ぎの方法について(複数回答あり)

引継ぎの方法	H29	
	自治会数	割合
マニュアル	26	15.6%
マニュアル以外の紙文書	59	35.3%
口頭	105	62.9%
データ	50	29.9%
その他	12	7.2%
未記入	8	4.8%

※問7で「行っている」または「十分ではないが行っている」と回答した167自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・引継ぎ書に沿って、書類と現状を話し合いながら、学習会的に実施。引継ぎ書には監査の名前と押印をする。
- ・資料の引き渡しを行っている。
- ・分からないところはその都度、前役員に相談している。
- ・総会等の資料がファイルされているので、年度ごとのファイルを参考に事業を進行している。
- ・マニュアル作成が必要と感じている。

引継ぎの方法について、「口頭」の割合が最も高く、6割以上の自治会が取り入れています。また、70自治会が口頭とマニュアル、マニュアルとデータといったように、複数を組み合わせた引継ぎを行っています。また、「引継ぎ書を用いた説明会」、「資料の引き渡し」のように資料等で行っていたり、マニュアル作成を考えている自治会もあるようです。

問9 会長および役員の報酬・謝礼について

報酬・謝礼の支出	H29		H26
	自治会数	割合	割合
している	125	66.5%	60.5%
していない	57	30.3%	35.3%
未記入	6	3.2%	4.2%
計	188	100%	100%

会長および役員に対する報酬や謝礼の支出について、「している」の割合が前回調査時より増加し、報酬や謝礼の支出をしている自治会が増加しています。

○会長

会長の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	15	12.0%
1万円以上10万円未満	85	68.0%
10万円以上30万円未満	19	15.2%
30万円以上	3	2.4%
未回答	3	2.4%
計	125	100%

○副会長

副会長の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	32	25.6%
1万円以上10万円未満	44	35.2%
10万円以上30万円未満	4	3.2%
30万円以上	1	0.8%
未回答	44	35.2%
計	125	100%

○会計

会計の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	34	27.2%
1万円以上10万円未満	67	53.6%
10万円以上30万円未満	3	2.4%
30万円以上	0	0.0%
未回答	21	16.8%
計	125	100%

○監査

監査の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	31	24.8%
1万円以上10万円未満	7	5.6%
10万円以上30万円未満	0	0.0%
30万円以上	0	0.0%
未回答	87	69.6%
計	125	100%

○班長

班長の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	28	22.4%
1万円以上10万円未満	5	4.0%
10万円以上30万円未満	0	0.0%
30万円以上	0	0.0%
未回答	92	73.6%
計	125	100%

○その他

その他の金額	H29	
	自治会数	割合
1万円未満	18	14.4%
1万円以上10万円未満	23	18.4%
10万円以上30万円未満	0	0.0%
30万円以上	0	0.0%
未回答	84	67.2%
計	125	100%

会長および役員に支払っている謝礼、報酬の金額について、会長・副会長・会計の金額は「1万円以上10万円未満」としている割合がそれぞれ最も高くなりました。また、同役職については10万円以上支払っている自治会もありました。監査・班長の金額は「1万円未満」としている割合が最も高くなりました。

年会費について

問10 年会費の徴収について

年会費の徴収	H29		H26
	自治会数	割合	割合
している	179	95.2%	93.7%
していない	6	3.2%	4.7%
未記入	3	1.6%	1.6%
計	188	100%	100%

年会費の徴収について、「している」の割合が9割を超え、ほとんどの自治会で年会費を徴収しており、その割合も増加しています。

年会費内訳	H29		H26
	自治会数	割合	割合
500円～1,000円	3	1.7%	2.1%
1,001円～5,000円	15	8.4%	8.4%
5,001円～10,000円	75	41.9%	37.9%
10,001円～20,000円	67	37.4%	39.5%
20,001円～50,000円	14	7.8%	6.3%
50,001円以上	2	1.1%	0.0%
未記入	3	1.7%	5.8%
計	179	100%	100%

年会費の金額	自治会数
12,000円	37
6,000円	26
10,000円	13
7,000円	7
7,200円	7
8,400円	7
9,600円	7
15,000円	7
18,000円	7
20,000円	4

(回答が多い上位 10 位まで)

会費の内訳について、「5,001円～10,000円」と「10,001円～20,000円」の割合が他の内訳金額より高く、約8割が年会費を5,001円～20,000円としています。また金額で回答数が最も多かったのは「12,000円」で37自治会、次いで「6,000円」で26自治会でした。

問11 年会費の減額について

自治会費減額	H29		H26
	自治会数	割合	割合
している	37	19.7%	20.1%
していない	146	77.7%	75.1%
未記入	5	2.7%	4.8%
計	188	100%	100%

減額している場合、その理由(複数回答あり)

減額の理由	H29		H26
	自治会数	割合	割合
高齢者夫婦の世帯	5	13.5%	18.4%
高齢者独居世帯	12	32.4%	23.7%
生活困窮	13	35.1%	31.6%
その他	10	27.0%	26.3%
未記入	4	10.8%	0.0%

※問11で「している」と回答した37自治会に対する割合

※その他(主な回答を抜粋)

- ・準会員の世帯。
- ・地区外に居住している人。
- ・普段は空き家状態で年2回しか帰省していない世帯。
- ・特別と認められたもの。

会員(一般世帯)の年会費の減額について、「していない」の割合が増加しています。約2割が「している」と回答しましたが、その理由については「生活困窮」、「高齢者独居世帯」の割合が高く、その他として、「空き家状態で年2回しか帰省しない」、「地区外に居住している」といった世帯などがありました。

問12 年会費の徴収方法について(複数回答あり)

会費の徴収方法	H29		H26
	自治会数	割合	割合
年1回まとめて徴収している	69	36.7%	31.1%
月ごとに徴収している	59	31.4%	30.0%
その他	57	30.3%	26.3%
未記入	12	6.4%	12.6%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・年1回か2回、会員が自由に選べる。
- ・年に3～4回徴収に分けて徴収。
- ・各班に任せている。
- ・原則月払いだが一括の人もある。
- ・各班長が徴収し会計へ渡している。
- ・前期、後期に分けている。一括で払う人もある。
- ・都合がつかない人は本人が払えるときにお願いしている。

会費の徴収方法について、「年1回まとめて徴収している」や「月ごとに徴収」といった方法のほか、自由記載にあるように、「年1回か2回、会員が自由に選べる」や「月ごとに徴収しているが、一括で支払う人もいる」という回答もありました。

会員名簿について

問13 会員名簿の作成について

会員名簿を作成しているか	H29		H26
	自治会数	割合	割合
はい	140	74.5%	76.3%
いいえ	45	23.9%	23.2%
未記入	3	1.6%	0.5%
計	188	100%	100%

会員名簿の作成について、「はい」の割合は減少しましたが、「いいえ」は前回の調査とほぼ同じ割合となりました。

問14 会員名簿の更新時期について

名簿の更新時期	H29		H26
	自治会数	割合	割合
1年更新	99	70.7%	60.7%
2年更新	17	12.1%	17.2%
3年更新	2	1.4%	2.8%
4年更新	2	1.4%	0.7%
5年更新以上	1	0.7%	1.4%
不定期	19	13.6%	15.9%
未記入	0	0.0%	1.4%
計	140	100%	100%

※問13で「はい」と回答した140自治会に対する割合

会員名簿の更新時期について、約7割が「1年更新」しており、その割合も前回調査時より増加しています。

問15 会員名簿の作成方法について

- ・自治会員全員の世帯主名を作成。
- ・全員分記載。
- ・班ごとに作成し、会員用に使用。
- ・同意を得られた世帯のみ掲載。
- ・個人情報なので最近は更新も苦労している。
- ・市から世帯通知があれば追加。

- ・全戸訪問して確認。
- ・幹部内で作成し公表はしない。人の増減は幹部が直接訪問し聞き取り調査をする。

会員名簿の作成方法について、「会員全員」や「世帯主のみ」、名前のほかに住所や電話番号を記載するといった回答や、「聞き取り」や「戸別訪問」、「個人情報の観点から名簿の作成や更新に苦労している」という回答もありました。

問16 会員名簿の取り扱いについて(複数回答あり)

名簿の取扱い	H29		H26
	自治会数	割合	割合
会長のみ所持している	32	22.9%	18.6%
役員のみ配布している	22	15.7%	21.4%
加入世帯全戸に配布している	77	55.0%	54.5%
その他	9	6.4%	5.5%
計	140	100%	100%

作成した会員名簿の取り扱いについて、「加入世帯全戸に配布している」の割合が最も高くなりました。その他として、「自治会館の中に書いて貼る」という自治会もありました。

自治会館について

問17 自治会館の有無について

会館の有無	H29		H26
	自治会数	割合	割合
ある	150	79.8%	83.2%
ない	33	17.6%	16.8%
未記入	5	2.7%	0.0%
計	188	100%	100%

自治会館の有無について、約8割が「ある」と回答しました。

問18 自治会館の所有状況について

会館の所有状況	H29		H26
	自治会数	割合	割合
会館を所有している	122	81.3%	80.4%
他の自治会と共有している	5	3.3%	3.2%
市から借りている	16	10.7%	8.9%
市以外から借りている	3	2.0%	1.3%
その他	4	2.7%	4.4%
未記入	0	0.0%	1.9%
計	150	100%	100%

自治会館の所有状況について、「会館を所有している」、が最も多い結果となりました。その他として、神社を会館として使用している自治会や、土地所有者から借用している自治会もありました。

問19 自治会館の建設時期について

会館建設時期	H29	
	自治会数	割合
昭和10年以前	4	2.7%
昭和11年～29年	5	3.3%
昭和30～49年	38	25.3%
昭和50～64年	41	27.3%
平成元年～10年頃	26	17.3%
平成11年～20年頃	14	9.3%
平成21年以降	5	3.3%
不明	8	5.3%
未記入	9	6.0%
計	150	100%

自治会館の建設時期について、「昭和30～49年」、「昭和50～64年」の割合が高く、その合計が5割以上となっています。また、88自治会の会館が築30年を超えています。

問20 自治会館運営上の課題について(複数回答あり)

会館運営上の課題	H29		H26
	自治会数	割合	割合
会館が老朽化しており、建替えを検討している	8	5.3%	5.1%
改修を検討している	42	28.0%	17.7%
備品等の買い替えを検討している	32	21.3%	15.2%
維持管理費が負担になっている	34	22.7%	22.2%
その他	27	18.0%	10.1%
未記入	22	14.7%	29.7%

※自治会館を所有している150自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・補助金を利用し改修を予定している。
- ・建物は1階半分が消防小屋になっており、改修や修理には市、消防団、自治会の協議が必要。
- ・改修しながら使用している。
- ・世帯数が減少しているため建て替えや改修が簡単ではない。
- ・老朽化、会員数の減少により解体を検討中。
- ・高齢者用にいろいろ準備したいが財政上厳しく、若干の補助金では無理。
- ・自己資金を積み立てている。

自治会館運営上の課題について、「改修を検討している」、「備品等の買い替えを検討している」の割合が増加しています。また、「老朽化、会員数の減少により解体を検討中」の自治会もありました。

問21 自治会館を所有していない自治会について

会館を所有していない	H29		H26
	自治会数	割合	割合
現状のままで問題はない	30	90.9%	75.0%
会館を新築する予定である	0	0.0%	0.0%
会館建設を検討しているが時期は未定	2	6.1%	3.1%
その他	1	3.0%	15.6%
未記入	0	0.0%	6.3%
計	33	100%	100%

会館を所有していない自治会について、約9割が「現状のままで問題はない」と考えています。

自治会活動について

問22 自治会活動について

活動項目	① 現在、継続して行っている活動			② 今後、新たに行いたいと考えている活動	
		左の内、負担が大きいと 思っている活動	左の内、他の自治会と連携して 行っている活動	単独で行いたい活動	他の自治会と連携して 行いたい活動
1. 住民への連絡	156	3	3	0	0
2. 広報の配布、市送付文書の 回覧等	174	8	3	0	0
3. 地域清掃(クリーンアップ)	158	0	11	0	3
4. 市道の維持補修	65	14	2	0	1
5. 公園の管理	54	6	4	0	1
6. 農道・農地・農業用水路の 管理	76	12	13	0	2
7. 堰根上げ・河川敷地の草 刈り	88	19	16	0	4
8. 防犯活動(巡回活動)	35	5	3	2	3
9. 防災活動	82	9	9	5	7
10. 交通安全活動	73	5	4	3	2
11. 花壇づくり	63	8	3	0	1
12. 資源ごみの回収	73	3	2	1	2
13. 独居老人の訪問	55	8	0	5	3
14. 高齢者宅等の除雪	56	13	2	5	3
15. 敬老会	89	6	5	5	1
16. 運動会	63	7	15	0	4
17. スキー大会	16	5	6	0	0
18. 祭り・伝統行事等	107	14	17	0	3
19. 学習会等	35	2	2	1	0
20. 葬儀手伝い	85	6	1	1	0
21. 交流会	71	0	6	1	3
22. 子供会	102	1	13	2	1
23. 学校行事への参加	29	1	4	0	2
24. 自治会報の発行	38	2	1	2	0
25. ホームページの開設	0	2	0	0	0
26. 募金(戸別訪問)	81	18	1	1	1
27. 行政機関への要望	98	2	3	1	5
28. コミュニティビジネス	5	2	0	1	2
29. その他	8	2	0	0	0

現在継続して行っている活動について、「住民への連絡」、「広報の配布、市送付文書の回覧等」、「地域清掃(クリーンアップ)」、「祭り・伝統行事等」、「子供会」などが主なものとなっています。また、負担が大きいと思っている活動として多かったのが「市道の維持補修」、「農道・農地・農業用水路の管理」、「堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「高齢者宅等の除雪」、「祭り・伝統行事等」、「募金(戸別訪問)」ですが、これらの中には他の自治会と連携して行っているものもあります。

今後、新たに行いたいと考えている活動については、単独では「防災活動」、「交通安全活動」、「独居老人の訪問」、「高齢者宅等の除雪」、「敬老会」などであり、他の自治会と協力したいと考えているのは、「堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「防災活動」、「運動会」、「行政機関への要望」などでした。

問23 自治会を運営する上での悩みについて(複数回答あり)

運営する上での悩み	H29		H26
	自治会数	割合	割合
役員のなり手がいない	116	61.7%	56.3%
役員の負担が大きい	60	31.9%	36.8%
役員が高齢化している	79	42.0%	35.8%
未加入世帯が多い	10	5.3%	4.7%
予算が少ない	25	13.3%	17.4%
特定の人しか参加しない	64	34.0%	31.6%
世代間の交流が難しい	39	20.7%	17.9%
会員が無関心で協力・参加が得にくい	20	10.6%	14.2%
活動するための情報が不足している	2	1.1%	3.7%
活動中の事故が心配	18	9.6%	9.5%
他の地域や自治会との連携が弱い	8	4.3%	5.8%
その他	9	4.8%	3.7%
未記入	11	5.9%	7.9%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・少子高齢化により、行事などの活動が難しくなっている。
- ・ご近所トラブル。
- ・何を計画するにも日曜日しかできない状況であり、皆さん働いているので日中は高齢者のみ。
- ・世帯で参加者が一人しかいない状況であり、特に若い人は親に任せきりである。
- ・退会する会員が増えてきている。

自治会を運営する上での悩みについて、「役員のなり手がいない」、「役員が高齢化している」の割合が前回調査時から増加し、「役員の負担が大きい」、「予算が少ない」、「会員が無関心で協力・参加が得にくい」の割合は減少しました。

問24 親交がある自治会について

親交のある自治会	H29		H26
	自治会数	割合	割合
はい	93	49.5%	48.9%
いいえ	82	43.6%	41.6%
未記入	13	6.9%	9.5%
計	188	100%	100%

※以下回答のあった自治会の回答内容を記載

【八幡平地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
水沢	熊沢	運動会
熊沢	水沢、永田、谷内	運動会、盆踊り、用水路管理
永田	谷内	運動会等
長嶺	川部	運動会、クリーンアップ、祭堂
川部	長嶺	運動会、祭堂、農業用水路の管理
湯瀬	小豆沢	未記入
小豆沢	八幡平地区	大日堂舞楽
大里	玉内、葛岡	運動会、スキー、野球、駅伝等
葛岡	玉内、大里	未記入
夏井	長牛	消防団、養豚場からの悪臭対策
長牛	桃枝、大久保	テレビ組合
桃枝	長牛	運動会、消防団
白欠	長内	用水路の管理
長内	白欠	未記入
三ヶ田	大久保、荒町	神社行事、農業関連行事
大久保	三ヶ田、荒町	草刈、堰根上げ、神社や林道の管理
荒町	三ヶ田、大久保	堰根上げ、古四王神社の祭礼、林道の管理
黒沢	石鳥谷	運動会
石鳥谷	黒沢	運動会
松館	石鳥谷、黒沢	協議会

【尾去沢地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
下モ平	蟹沢、西道口、尾去	祭典、野球、グランドゴルフ、防災訓練
山方	軽井沢	尾去沢地区主催のスポーツイベント、子供会
松子沢	山方、軽井沢	消防団、子供会活動
中央通	瓜畑	子供会行事
軽井沢	山方、山神社	運動会等の参加、子供会行事

下新田	中新田	花見、運動会
中新田	下新田	市民行事、保全体、地域サロン
山神社	軽井沢	民生委員活動

【十和田地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
下小路(下)	館、古町	子供会
南	五軒町、城ノ下	月山神社の清掃、除雪用水路の管理
上町(毛馬内)	中町	学習会、防災訓練など
中町	上町、下町	未記入
下町	上町、中町	運動会、盆踊り
土ヶ久保	中野	堰根上げ、運動会
蟹沢	三の丸	運動会
石野	土深井、大欠、松山	未記入
高清水	山根地区	草刈
下芦名沢	上芦名沢、高清水、長者久保	農村公園草刈、掃除、なさぶり交流会
上芦名沢	下芦名沢	集落行事、草刈、交流会、堰根上げ
関上	大川原、中野、蟹沢	組合、農業用水路の管理
三の丸	蟹沢	運動会
沢尻	松ノ木	特になし
根市戸	浜田	堰根上げ、刈払
錦東	浜田、根市戸地区	未記入
神田	古川、松ノ木	堰根上げ、錦木塚祭
松山	大欠、土深井、石野	運動会、堰根上げ
大欠	松山、土深井	消防団、運動会
土深井	松山、大欠	運動会
堀内	四ノ岱	未記入
荒瀬	中岱	会館の管理、子供会
中岱	荒瀬	会館の管理、子供会
中田	地域連絡協議会	夏祭り、雪祭り
丁内	下ノ湯、川原ノ湯	観覧会、演芸大会
下ノ湯	川原ノ湯、丁内	花見、演芸大会、夏祭り
川原ノ湯	下ノ湯、丁内	演芸大会
砂派	新田	未記入

【花輪地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
上野	沢口一区、新田町三区、新田町農家	行政への要望、ごみ箱の共通利用

沢口一区	荒屋敷、沢口二区、館盆坂	未記入
沢口二区	沢口一区	未記入
新田町(農)	新田町、新田町三区	祭り、神明礼、お神興渡卸、民生、児童関係
舟場町	舟場三区	舟守地藏尊祭典
舟場三区	舟場町	同上
谷地田町二区	谷地田町二区、坂ノ上	未記入
大町	新町	未記入
新町	横町袋丁、下堰向	子供会、お祭り
横町袋丁	新町	祭典、子供会
組丁	横丁	町踊り
下堰向	新町	花輪ばやし
旭町一区	旭町二区、旭町三区	祭り、伝統行事、花壇づくり、研修旅行
旭町二区	旭町一区、旭町三区	防災訓練、遠足、花壇づくり
旭町三区	旭町一区、旭町二区	防災活動、旅行会
久保田	旭町	未記入
八正寺団地	下堰向	子供会への参加
沢小路	川原町、組丁	未記入
東山	東山住宅、案内、古館	役員会懇談会
東山住宅	東山、案内、古館	懇親会、避難訓練立会い
小坂二区	小坂一区、小坂三区	運動会、清掃活動、祭典、子供会、若者会、婦人会、健生会
小坂三区	小坂一区、小坂二区	運動会、祭り、堰根上げ、クリーンアップ、元気塾、婦人会、老人クラブ等
古館	東山住宅、案内、東山	役員会懇談会
用野目	七ヶ部落連絡協議会	地区の支援
高屋	下川原、狐平、用野目、鏡田、花軒田、曲沢	環境問題
曲沢	花軒田	未記入
鶴田	鶴田、高市、長野、上台	情報交換、行政への要望
小深田	鏡田	両自治会山作業
西町	東町	神社等の刈払い
高市	上台、長野、鶴田	御嶽神社例大祭
長野	上台	駅伝、堰根上げ
上台	長野、高市、鶴田	行政への要望、子供会の連携
菩提野	企業	懇親会
寺坂	平元地区	夏祭り、公害等の監視
小枝指	館	氏神様の祭典など
館	平元地区	夏祭り、運動会、推進大会
級ノ木	菩提野	堰根上げ

親交のある自治会の有無については、前回調査時と比べ割合に大きな変化がなく、交流が継続していることがうかがえます。活動や行事については、クリーンアップや草刈りなどの環境整備活動、運動会や祭り、演芸大会などの交流行事や伝統行事が多くみられました。

問25 自治会での課題解決について(複数回答あり)

課題解決のために必要なこと	H29		H26
	自治会数	割合	割合
普段の付き合い	136	72.3%	72.1%
活動や趣味のグループづくり	25	13.3%	23.2%
祭りや行事の実施と参加	79	42.0%	45.3%
地域住民が地域の課題に関心を持つこと	92	48.9%	54.2%
会の情報を提供、共有すること	41	21.8%	21.6%
会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	32	17.0%	16.8%
リーダーを育成すること	57	30.3%	33.7%
若い世代の参加	84	44.7%	50.0%
自治会の統廃合等の再編成	14	7.4%	5.3%
民生委員やPTA等、他の組織との連携	32	17.0%	17.9%
その他	8	4.3%	0.0%
未記入	13	6.9%	8.9%

※「割合」は188自治会に対する割合

課題解決のために必要なことについて、前回調査時と同様に「普段の付き合い」の割合が最も高くなりました。また、「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」、「若い世代の参加」といった回答も多くなっています。

問26 自治会の合併について

自治会の合併について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
必要だと思う	23	12.2%	6.8%
必要だと思わない	69	36.7%	39.5%
今は必要ないがいずれは必要かもしれない	84	44.7%	46.8%
その他	7	3.7%	2.1%
未記入	5	2.7%	4.7%
計	188	100%	100%

自治会の合併について、前回調査時と同様に「今は必要ないがいずれは必要かもしれない」の割合が最も高くなりました。

自治会への加入について

問27 自治会への加入率について

自治会加入率	H29		H26
	自治会数	割合	割合
全戸加入している	90	47.9%	54.2%
90%程度	66	35.1%	28.4%
90%未満～80%以上	18	9.6%	7.4%
80%未満～50%以上	10	5.3%	7.4%
50%未満	1	0.5%	0.0%
未記入	3	1.6%	2.6%
計	188	100%	100%

自治会の加入率について、「全戸加入している」、「90%程度」の割合の合計が8割以上であり、高い加入率を保っています。

問28 居住区域に住んでいない会員がいるかについて

自治会区域内に住んでいない会員はいるか	H29		H26
	自治会数	割合	割合
はい	67	35.7%	38.4%
いいえ	114	60.6%	57.4%
未記入	7	3.7%	4.2%
計	188	100%	100%

自治会区域内に住んでいない会員がいるかについて、「はい」(住んでいない会員がいる)の割合は、3割以上ありました。

問29 加入促進の取組について

加入促進の取組	H29		H26
	自治会数	割合	割合
自治会で作成したポスターやチラシを配布するなど啓発に努めている	3	1.6%	3.7%
戸別訪問して加入を呼びかけている	44	23.4%	17.4%
特に何もしていない	99	52.7%	58.9%
その他	10	5.3%	2.1%
未記入	32	17.0%	17.9%
計	188	100%	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・転入された方へ、加入を呼びかけている。
- ・一人暮らしや高齢者の家庭にも加入のお願いをしている。
- ・広報配布時や子供会を通じての呼びかけや、面識のある方には路上で呼びかけている。
- ・戸建て住宅の新築や転入された人には、戸別訪問をしているがアパート入居者には何もしていない。
- ・引越した情報を得ると、訪問や電話で勧誘。

加入促進の取組について、「特に何もしていない」の割合が5割以上でしたが、前回調査時から割合が減少しています。また、「戸別訪問して加入を呼びかけている」の割合は増加しています。

自治会の連合組織について

問30 地区連合組織(自治会の連合体)への加入について

地区連合組織	H29		H26
	自治会数	割合	割合
加入している	85	45.2%	42.1%
加入していない	75	39.9%	37.9%
加入を検討している	1	0.5%	0.5%
組織がない	19	10.1%	7.4%
未記入	8	4.3%	12.1%
計	188	100%	100%

地区連合組織への加入について、「加入している」、「加入していない」のどちらとも割合が増加しています。

問31 地区連合組織の必要性について

地区連合組織	H29		H26
	自治会数	割合	割合
必要である	102	54.2%	48.9%
必要でない	65	34.6%	30.5%
わからない			0.5%
未記入	21	11.2%	20.0%
計	188	100%	100%

※「わからない」については前回調査時のみの選択肢

地区連合組織の必要性について、「必要である」の割合が前回調査時より増加し、5割以上が連合組織に必要性を感じています。問30での「加入している」の回答数より必要性を感じている自治会数が多いことから、地区連合組織に未加入の自治会でも必要としています。

問32 地区連合組織の役割について(複数回答あり)

連合組織の役割	H29		H26
	自治会数	割合	割合
行政への要望書提出	72	38.3%	31.1%
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	31	16.5%	7.4%
自治会相互の連携事業や連絡調整	58	30.9%	12.1%
単位自治会と活動内容が重複している	1	0.5%	1.1%
加入していないのでわからない	55	29.3%	26.8%
その他	6	3.2%	2.1%
未記入	26	13.8%	19.5%

地区連合組織の役割について、「行政への要望書提出」、「自治会相互の連携事業や連絡調整」の割合が高くなりました。その他には、「負担が増加する」や、「新会長の勉強の場になっているのでありがたい」といったものがありました。

地域づくり協議会等について

問33 市民センター事業について

センター行事への参加	H29		H26
	自治会数	割合	割合
ある	96	51.0%	45.3%
ない	77	41.0%	48.9%
未記入	15	8.0%	5.8%
計	188	100%	100%

昨年1年間の市民センター行事への参加について、「ある」の割合が前回調査時から増加し、5割以上の自治会が市民センターの行事に参加しています。

参加した事業(複数回答あり)

参加行事	H29		H26
	自治会数	割合	割合
市民運動会	64	66.7%	84.0%
市民スキー大会	25	26.0%	32.1%
子供会行事	48	50.0%	56.8%
各種講演会	44	45.8%	
文化事業	45	46.9%	
その他	8	8.3%	29.6%

※問33に「ある」と回答した96自治会に対する割合

※その他(主な回答を抜粋)

- ・自治会活性化交流会。
- ・地域観光再開発事業実行委員。

参加した市民センター行事について、「市民運動会」の割合が最も高く、「子供会行事」についても5割が参加しています。しかし、前回調査時とくらべ、「市民運動会」と「市民スキー大会」、「子供会行事」の割合が減少しており、中でも市民運動会の割合が約2割減少しています。今回の調査から「各種講演会」、「文化事業」という選択肢を追加しましたが、どちらとも4割以上が参加しています。「その他」として「自治会活性化交流会」、「地域観光再開発事業実行委員」がありました。

問34 地域づくり協議会等に期待することについて(複数回答あり)

地域づくり協議会に期待すること	H29	
	自治会数	割合
生涯学習に関する各種学級・講座の開催	24	12.8%
自治会活動の支援	46	24.5%
芸術、文化、スポーツ等趣味的な事業の開催	23	12.2%
自治会向けの講座の開催	12	6.4%
生涯スポーツを通じて健康づくりと親睦を深める事業の開催	22	11.7%
このままでよい	61	32.4%
その他	10	5.3%
未記入	36	19.1%

※「割合」は188自治会に対する割合

※その他(主な回答を抜粋)

- ・情報交換で課題解決のヒントが得られる。
- ・行事が特定の地区中心になっていると思うので、もう少し地区ごとに分散してもよいのではないかな。
- ・行事を増やさない。
- ・参加自治会が少ない事業は、開催内容等を伝えるべき。
- ・よくやってくれていると思うが、自治会のほうに問題がある。
- ・地域の環境整備。

地域づくり協議会等に期待することについて、「このままでよい」の割合が最も高く、それ以外の回答では、「自治会活動の支援」や「生涯学習に関する各種学級・講座の開催」を期待しています。

広報等配布物の配布状況や取り扱いについて

問35 広報等配布物の範囲について

広報配布範囲	H29		H26
	自治会数	割合	割合
自治会加入世帯のみ	109	58.0%	65.1%
自治会未加入世帯を含む	66	35.1%	27.6%
その他	4	2.1%	3.1%
未記入	9	4.8%	4.2%
計	188	100%	100%

広報等の配布範囲について、「自治会加入世帯のみ」および「自治会未加入世帯を含む」を加えた割合は9割を超えています。その他として、「加入、未加入問わず全戸配布」や「アパートの住居者」といったものがありました。

問36 広報の配布方法について

配布方法	H29		H26
	自治会数	割合	割合
会長または配布担当員が仕分けして配布	41	21.8%	25.3%
会長または配布担当員が仕分けして班長等が配布	125	66.5%	65.8%
会館等に設置し、会員が各自取りに来る	2	1.1%	0.0%
その他	10	5.3%	5.8%
未記入	10	5.3%	3.2%
計	188	100%	100%

広報の配布方法について、「会長または配布担当員が仕分けして班長等が配布」の割合が最も高く、仕分けと配布で役割分担をしている自治会が多数ありました。その他として、「役員が仕分けし、会長が配布」や「班長が配布し、未加入世帯へは会長が配布」といったものがありました。

問37 広報以外の配布物について

チラシ等について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
これまで通りでよい	58	30.9%	30.4%
減らしてほしい	63	33.5%	41.2%
広報に全てまとめてほしい	53	28.2%	22.7%
その他	5	2.6%	1.5%
未記入	9	4.8%	4.1%
計	188	100%	100%

広報以外の配布物(チラシなど)について、「減らしてほしい」、「広報に全てまとめてほしい」の割合の合計が6割を超え、広報以外の配布物が多いと感じている自治会が多数ありました。

問38 広報等配布物の取り扱いに関する意見・要望について(主な回答を抜粋)

- ・チラシが多すぎる。記事、記載が重複しているために無駄だと思う。
- ・農繁期時は目を通す方が少ない。
- ・教育委員会の方で、小、中学校の便りを同日に発行するようにできないか。
- ・回覧用資料には「回覧」マークを入れてほしい。表示のない物は回覧してくれない班が多い。
- ・無駄なチラシを減らし、その経費で市内自治会の要望等に予算を使ってほしい。
- ・冬は昼間にもってきてほしい。担当者も明るいうちに持ってきたほうが安全ではないか。
- ・市内すべての行事を、チラシやネットで発信してほしい。市内の行事一覧と、中・高生の各試合予定がわかれば見学者が増えると思う。
- ・全て広報にまとめるのは難しいと思いますが、少しでも減らしてほしい。

広報等配布物の取り扱いに関する意見・要望について、「チラシが多すぎる。」という意見のほか、ネットを利用した情報発信や、配布物を自治会に持参する時間帯など様々なものがありました。

防災について

問39 自主防災組織について

自主防災組織	H29		H26
	自治会数	割合	割合
結成している	86	45.7%	42.6%
結成を検討している	19	10.1%	
検討していない	75	39.9%	
結成していない			53.2%
未記入	8	4.3%	4.2%
計	188	100%	100%

※「結成していない」については前回調査時のみの選択肢

自主防災組織について、「結成している」の割合が前回調査時より増加しており、また、約1割の自治会が「結成を検討している」と回答しています。

問40 防災訓練について

防災訓練の実施	H29		H26
	自治会数	割合	割合
実施している	69	36.7%	33.7%
実施していない	105	55.9%	55.3%
未記入	14	7.4%	11.1%
計	188	100%	100%

防災訓練について、前回調査時から「実施している」割合が増加しましたが、「実施していない」割合が5割以上ありました。

問41 市のメール配信システムについて

情報メール	H29		H26
	自治会数	割合	割合
すでに登録済み	114	60.6%	65.8%
今後登録したい	46	24.5%	22.6%
登録は難しい	13	6.9%	3.2%
未記入	15	8.0%	8.4%
計	188	100%	100%

※自由記載（主な回答を抜粋）

- ・会長、副会長は登録しているが、個人で登録している詳細な人数は把握していない。
- ・関係のない配信が多い。天災、火事、熊の出現情報はいいと思うが、犬や猫、交通事故、市の案内等はいらないと思う。
- ・メールの内容が多種多様になりすぎ、本当に欲しい災害時の情報にできないか。
- ・携帯電話を所有していない。
- ・高齢化しているので不向き。
- ・使用が困難、FAX利用がいい。
- ・必要のないメールが多すぎると聞く。
- ・必要性を感じない。個人的に登録している人はいる。
- ・高齢者世帯が90%であるため。
- ・ドメイン指定すると受け取れなくなるので、迷惑メール対策をしている層にやり方を記載した用紙を配布できたらいいと思う。
- ・他の役員にも勧めたい。

市の情報メール配信システムについて、「すでに登録済み」と回答した会長の割合が前回調査から減少しました。多くの住民に素早く様々な情報を発信できる情報メールですが、「関係のない配信が多い」、「必要のないメールが多い」等の意見がありました。市の情報メール配信システムは、必要な情報だけを受信できるよう設定することも可能ですので、ご不明な点につきましては、総務課危機管理室までお問い合わせください。

問42 自治会区域内の危険な場所について

危険箇所	H29		H26
	自治会数	割合	割合
ある	89	47.3%	51.6%
ない	79	42.0%	40.0%
未記入	20	10.7%	8.4%
計	188	100%	100%

※ある場合の具体的な場所

- ・熊沢川の堤防の決壊が懸念される。
- ・川部橋の両側の十字路が見通しが悪い。
- ・米代川護岸崩れている場所や崩れそうな場所がある。
- ・米代川、赤渚地内の洪水、氾濫がたびたび起こっている。
- ・古四王神社東側に山林の法面崩落の兆候あり。
- ・大久保、杉山～三ヶ田間の水路法面の崩壊、谷内バイパスへの交差点、冬場は雪壁で車両が見えない、大久保～岩崎間が雨天時に水が溜まり自転車通学の中学生の通行が危ない。
- ・洪水(床上)、土砂災害(山根地区)、自治会内の排水溝、側溝の老朽化、破損があり水害の危険がある。

- ・市日駐車場(尾去沢市街地地区)の豪雨時土砂崩れの箇所。空家、屋根や石垣のくずれ。未工事宅地の雑木、雑草。
- ・館(毛馬内)自治会館横の杉、会員宅前の桜の老木、自治会区域の坂の木が倒木する可能性もある。
- ・古下、押出地区一部山を背にしているので心配。
- ・月山神社里宮前のカーブが見通し悪い。
- ・県の調査で危険箇所と指定されている箇所。
- ・長土路から旧山根小学校までの上り坂になっている道路が狭いので、U字溝に蓋をかけてほしい。
- ・土砂災害特別警戒区域。
- ・大雨時大和橋周辺が不安。
- ・在郷坂川および唐倉山の土砂災害、大雨時の側溝氾濫と床下水害。
- ・保田橋が川から高い位置にあり周辺にフェンスがない。
- ・万山林の急傾斜地、万山井戸横の坂からの水や土砂、会館裏の急傾斜地。
- ・米代川上流に、大雨時の越流し大関に流れ込む場所がある。
- ・長年寺前の県道交差点増水時建物への浸水あり。
- ・陳場橋から組丁橋の間の北側斜面の土砂崩れまたは、樹木の倒壊。
- ・旭町交差点の柵が腐食し、いずれ修理していただきたい。
- ・市民プールが開設すると、駐車場の車が道路まで飛び出しており、通行の妨げになっている。
- ・自治会館から花輪第一中学校への道路の崖は度々依頼したが回答がなく、子供たちに何か起こるのではないかと思う。
- ・深堰水路の増水、住宅地の道路幅が狭く、ポンプ車等が進入できるか不安。
- ・国道から鏡田橋を渡って右側の水路の開知石が風化し割れている。
- ・川向いに人家があり土砂災害が発生する危険がある。
- ・乳牛川と国道282号の交差点のところに信号機がなく、カーブもきつい。
- ・自治会内の市道から国、県道に出る時の見通しが悪い。
- ・柴平活動センターの周辺の崖。
- ・平元小学校駐車場に柵がない。

自治会区域内の危険な場所について、「ある」の割合が前回調査時から減少しましたが、大雨による災害や交通安全に対する不安が多く挙げられています。

自治会を支援する制度について

問43 自治会振興交付金について

交付額＝基本額(24,600 円～33,400 円)＋広報を配布する世帯対応額(600 円×世帯数)

(例) 50 世帯の場合 25,800 円＋600 円×50 世帯＝55,800 円

自治会振興交付金について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
現状のままでよい	153	81.4%	71.6%
見直しをしてほしい	17	9.0%	18.9%
未記入	18	9.6%	9.5%
計	188	100%	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・自治会振興資金として運用するため、会長への振り込みではなく自治会へ振込してもらいたい。
- ・若者の減少により、事業の実施ができず、会費収入も見通しが立たないので、基本額を上げてほしい。
- ・役員のなり手がなく、交付金等の手当で負担を少なくしてください。
- ・財産を持っている自治会と、財産を持っていない自治会に区別してほしい。
- ・会員数が減っているので予算のやりくりにかなり気を付けてやっているが、先細りが目に見えているので、ある程度のまとまった交付金を頂けたらと思う。

自治会振興交付金の内容について、8割以上が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査時より増加しています。

問44 自治会元気づくり応援補助制度について

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業など主に活動費に対して補助金を交付します。会員世帯数が30世帯以下の場合には補助率4分の3、限度額15万円。それ以外の自治会には補助率2分の1、限度額は10万円です。

自治会元気づくり応援補助制度について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
現状のままでよい	144	76.6%	73.2%
見直しをしてほしい	15	8.0%	13.2%
未記入	29	15.4%	13.7%
計	188	100%	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・限度額を上げてほしい。
- ・補助金の交付、申請書など簡単にしてほしい。
- ・30世帯以下は3/4補助→50世帯にしてほしい。
- ・補助金受領後の手続きが面倒。
- ・事業終了後の申請も認めてほしい。
- ・文化、交流事業には酒類がつきものだが、酒類に補助金が支給されない。もっと自由に活用できるようにしてほしい。
- ・補助率を100%にしてほしい。(限度額があってよい。)
- ・活動している自治会にはそれなりに必要。
- ・事業を行うにあたり、自治会の負担金が発生する。年間決められたお金で運営するので補助金の使い方が難しい。

自治会元気づくり応援補助制度について、7割以上が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査時より増加しています。

問45 自治会館建設事業費補助制度について

自治会館の新增築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね 30%以内です。改修は、補助率 2 分の 1、限度額は 50 万円または 100 万円です。

自治会館建設事業費補助制度について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
現状のままでよい	132	70.2%	64.2%
見直しをしてほしい	21	11.2%	17.9%
未記入	35	18.6%	17.9%
計	188	100%	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・自治会の中からの改修費の捻出は困難であり、特別徴収にも限度がある。
- ・補助率を上げてほしい。
- ・現状も高齢者の独り暮らしと空家、その予備軍も多数存在している。その中で自治会館の建設、維持は負担が大きい。近隣の自治会と統合合併も必要と思われる。
- ・改修工事補助金の提出資料を簡便にできないか。
- ・会館の老朽化に伴い、建て替えをしたいが、自治会の現状では無理がある。この制度で、どれだけの自治会館が建設され、どれだけ負担したのか知りたい。
- ・少子高齢化により人口が激減しているため、会館建設が困難。自治会の合併等により、行政で古い施設を改築して、自治会館として使用させてほしい。
- ・解体を検討しているので解体費用の補助をしてほしい。
- ・現状では個人負担が大きすぎて新築不可能。
- ・高齢化が進み、会館を建て替えるための寄付金が集まるとは思えない。計画的に建設費の積み立てもできない。先が見えない。
- ・限度額を増してほしい。
- ・高齢化で土地を取得し、会館を建設することは困難。「神社」を総会役員会等の集会所として使用、補修の補助は可能か。

自治会館建設事業費補助制度について7割以上が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査時より増加しています。これは、自治会からの要望を受け、今年度より改修事業の制度を拡充したことによるものと考えられます。

問46 自治会コミュニティ再生応援事業の利用について

規模の小さい自治会(概ね 30 世帯以下、55 歳以上の割合が 50%以上)を対象に、自治会の活力再生のための活動事業と、その準備段階である活動計画策定事業に対して補助を行います。計画策定事業は補助率 10 分の 10、限度額 10 万円。活動事業は補助率 10 分の 10、限度額 50 万円です。2 つ以上の自治会が連携して事業を行う場合は活動事業の補助限度額が 100 万円になります。

自治会コミュニティ再生応援事業の利用について	H29		H26
	自治会数	割合	割合
利用したいと思う	32	17.0%	22.1%
利用したいと思わない	33	17.6%	14.7%
対象外のためどちらでもない	83	44.1%	46.3%
未記入	40	21.3%	16.8%
計	188	100%	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・必要な時ではない。
- ・利用したいが、活力がある人が少なく、事業を行えるかわからない。
- ・小規模自治会の定義の変更30→40世帯。
- ・現在は対象を上回っているが、先を考えると不安。
- ・できる事業が思いつかない。
- ・今後も利用させてもらいたい。
- ・事例を挙げて個別指導してほしい。
- ・利用したいが中身がよくわからない。近々話し合いを持ちかけたい。

自治会コミュニティ再生応援事業の利用について、対象となる自治会のうち5割以上が「利用したいと思う」と回答しました。また、この事業は集落支援員によるサポートを行っておりますので、市民共動課までお問い合わせください。

問47 集落支援員活動事業の活用について

自治会と協力しながら様々な「状況調査」や住民と住民、住民と市の間で現状や課題等の「話し合い」を行い、それぞれの自治会の状況に応じた「活性化の取組」を支援します。

集落支援事業の活用について	H29	
	自治会数	割合
活用したいと思う	42	22.3%
活用したいと思わない	59	31.4%
話だけでも聞いてみたい	46	24.5%
未記入	41	21.8%
計	188	100%

※自由記載（主な回答を抜粋）

- ・住民同士の団結力が弱く、活性化事業ができるか心配。
- ・1年で会長が変わるため、次年度に向けて体制ができない。
- ・これから実績を積んでほしいと思う。あまり担当者を代えずに対応してほしい。
- ・どんなことを実施するか不明。
- ・事例を挙げて個別指導してほしい。
- ・現状あまり考えていない。
- ・今年度は規模の小さい自治会が対象のようなので、その様子(情報)を聞いて考えたい。
- ・自治会員でできるだけやりたいと思う。

今年度からスタートした「集落支援員活動事業」について、「活用したいと思う」の割合が約2割となり、「話だけでも聞いてみたい」の割合も2割を超えていることから、今後も集落支援員活動事業について周知を図っていきます。

問48 地域づくりリーダー研修会への要望について

毎年、地域コミュニティの更なる活発化及び課題解決のため、自治会長を対象に講演や活動報告等を行っています。

平成27年度は、白欠自治会と移住コンシェルジュによる活動報告を実施しました。

平成28年度は、(株)あきた森の宅急便 代表取締役 栗山奈津子氏による講演と、移住コンシェルジュによる活動報告を実施しました。

※自由記載（主な回答を抜粋）

- ・仕事と自治会活動の両立についての話を聞きたい。
- ・自治会活性化のヒントになる話を聞きたい。
- ・若い世代の団体またはグループと行事に参加し交流会を開きたいから、そのような団体やグループの紹介リスト等が欲しい。
- ・会長が高齢になっているため、若い世代を育ててほしい。しかし若い世代は仕事のため参加困難。

- ・地区別に分けて会長だけでなく副会長も呼んでほしい。
- ・継続可能な活動。
- ・27年度の白欠自治会、移住コンシェルジュの活動報告は非常に参考になった。コンシェルジュの話は毎年聞きたいと思う。
- ・実際に災害のあった地域の体験談を聞いてみたい。
- ・地域活動報告をもっと多く。
- ・高齢社会に合わせた自治会の在り方。(何か例があったら。)
- ・市外自治会の活動報告等を聞きたい。
- ・具体的なテーマ思い浮かばないが研修会には参加したい。
- ・全役員を対象に講習会を開いてほしい。

地域づくりリーダー研修会への要望について、「会長以外の役員も呼んでほしい」、「若い世代の団体のリストがほしい」といったものや、「仕事と自治会活動の両立」、「コンシェルジュの話」、「災害のあった地域の体験談」など、様々な要望がありました。平成29年度は、「コンシェルジュの話は毎年聞きたい」、「市外自治会の活動報告等を聞きたい。」という意見をふまえ、秋田県地域の元気創造課活力ある集落づくり支援室による地域づくりについての講演と、移住コンシェルジュの活動報告を実施しました。

問49 新たに自治会を応援する支援制度等の意見・要望について

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・自治会の一大イベントが資金不足で難儀している。事業運営資金の援助をお願いしたい。
- ・労力の減少を補うための機械設備の導入に関する助成金。
- ・市職員の地域内行事の参加が少なく、文書配布して終わりという市側からの一方通行が多い。
- ・自治会内の舗装がいたんでいるが改修が進まない。
- ・会館を高齢者が快適に利用できるよう全額補助してほしい。
- ・市に頼りすぎているのが現状ではないかと思うので各自治会も考える必要があるのではないかな。

自治会を応援する新たな取組や支援制度について、「事業運営資金の援助」、「機械設備の導入に関する助成金」などの意見がありました。

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問50 自治会のシンボル・資源・誇りについて(複数回答あり)

自治会のシンボル・資源・誇りに思うもの	H29		H26
	自治会数	割合	割合
自然環境	45	23.9%	37.4%
街並み・建物	8	4.3%	10.5%
温泉	7	3.7%	6.3%
祭り	34	18.1%	22.6%
郷土芸能	26	13.8%	17.4%
伝統工芸	2	1.1%	3.2%
遺跡・史跡	14	7.4%	8.4%
特産物	6	3.2%	7.4%
水資源	13	6.9%	15.3%
動植	5	2.7%	7.4%
郷土料理	2	1.1%	8.4%
産業	1	0.5%	6.3%
その他	10	5.3%	10.5%
未記入	84	44.7%	35.8%

※「割合」は188自治会に対する割合

※具体的にどのようなものがあるか

- ・八幡神社例大祭の「兄川舞」や「大日堂舞楽」。
- ・薬師神社の祭典。
- ・毛馬内の盆踊り、月山神社祭典、七夕まつり、新年安全祈願。
- ・裸参り。
- ・虫送り。
- ・のどかな田園風景、大森親山獅子大権現舞。
- ・夏祭り、荒瀬共同浴場。
- ・米代川、大堰、お祭り広場、西公園、花輪ばやしと七夕まつり参加町内。
- ・十和田八幡平国立公園、大湯大太鼓、地域伝統行事。
- ・駒踊り、トゲウオ。
- ・昔から商店街のため寂れてはいるが、祭りや盆踊りなどの会場になっているので、がんばって継続していきたい。
- ・運動会、祭り。
- ・湧水利用の水道。
- ・道路沿線の花壇づくり。
- ・けやきの木。

- ・ヒバの垣根。
- ・秘境の滝、種類豊富な山菜、清流の魚。
- ・オジナ・オバナ、ストーンサークル、熊鍋、納豆汁、だまこ鍋。
- ・大日堂そば。
- ・リンゴ。
- ・しぼり大根。
- ・芦名神社。
- ・史跡尾去沢鉱山。
- ・氏神様に奉納している、しめ縄づくり。
- ・町名に係る歴史で、延宝2年に花輪城の御同心組丁跡がある。
- ・旧公会堂。
- ・地域に会社が11社あり、産業が活発である。
- ・駅、スーパー、街に近く生活がしやすいところ。
- ・分譲時からの2～3世帯の交流のある団地。
- ・コモッセのすぐ隣の自治会。
- ・鹿角中央病院とそのグループ。
- ・自主防災会の内閣総理大臣賞受賞。
- ・住民。
- ・災害や火災がない。
- ・ふれあいの集いと称して自治会全体で演芸会をしてコミュニケーションを図っている。
- ・行事を通し人間関係ができ、協力者が増加している。

自治会のシンボル・資源・誇りに思うものについて、「自然環境」の割合が最も高く、次いで「祭り」や「郷土芸能」の割合も高くなりました。

問51 自治会内の課題について(複数回答あり)

現在の自治会の課題	H29		H26
	自治会数	割合	割合
地域や集落の景観保全	17	9.0%	7.9%
地域安全・防犯・防災	44	23.4%	32.6%
河川・水路・水源の維持管理	61	32.4%	34.7%
地域文化の継承・保存	39	20.7%	25.8%
公園・道路の維持管理	30	16.0%	20.5%
空き家等の適正管理	83	44.1%	38.4%
一人暮らし高齢者世帯の増加	121	64.4%	66.8%
ごみや騒音などの環境問題	13	6.9%	4.7%
自治会の存続	41	21.8%	14.7%
自治会活動の停滞	38	20.2%	16.3%
会員数の減少	95	50.5%	51.6%
その他	6	3.2%	1.1%
未記入	0	0.0%	9.5%

※「割合」は188自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

- ・観光資源(溪谷)への熊対策。
- ・水源地や施設の維持。
- ・高齢者の通院、買い物の支援。
- ・集落保有の稲荷神社の改修。
- ・会長のやる気など。
- ・冬期間に会館までの除雪と、緊急車両が入れない狭い道がある。改善できないか。
- ・地域住民は言わないが壊れている空家がある。持ち主に解体させてほしい。
- ・高齢者が亡くなり、新規入居者が来るということが頻繁にあり、新規入居者がわからず、個人情報もプライバシーの観点から集めることができない。また、人付き合いもない。
- ・若者会、婦人会、子供会の祭り屋台の運行が継続できなくなるのではないかと、頭を悩ませている。この屋台の運行は最大の課題である。
- ・横町の道路改修に伴い、川原町に水が流れなくなり、水量が減少している。
- ・若い人にどう役員を引継ぎ、活性化させるかが課題。
- ・一人暮らしだけでなく、二人暮らしの高齢者。
- ・予算の減少、会費を安易に値上げできない、高齢者が多いので行事の参加者が少ない。
- ・独身者が多い。

自治会の課題については、「一人暮らし高齢者世帯の増加」と「会員数の減少」の割合が5割以上でした。また、前回調査時と比べ、「空き家等の適正管理」、「自治会の存続」、「自治会活動の停滞」の割合が増加しています。

問52 その他自治会に関する要望や意見などについて(主な回答を抜粋)

自治会に関しての要望や意見
空き家が増えているがお金や人手が必要で手が出せない。
自治会から出ていく人が増え、会費の減少、所有財産の維持、負担の増加、土地の荒廃が進むのではないかと不安。
自治会に対し、市、社会福祉協議会、公共物等の依頼が多くなり、自治会の負担が大きくなっていると役員から苦情が出ている。
新山の境に大木がある。台風や雪で民家に直撃することを心配している。
役員のなり手がいない、若者の自治会活動参加が少ない、総会の出席率が少ない。
防災指定に対する事業に対応してほしい
市役所等公務員が退職後自治会に協力しない人が多い。地域住民として自治会に協力すべき。
市営住宅は超高齢化しており、まともな話し合いさえできない。市役所等で各家庭を回りその情報に基づいて、見守りをするのがいいと思う。高齢者の方で頑固な方もいて、近所の好意が伝わらない人もいる。一人暮らしをしている高齢者の親族に見守りをするように指導すべき。
一人の市民を大事にする行政をしてほしい。様々なことはやってくれていると思うが、一人暮らしの方の除雪を特例で手助けできないか。
自治会の仕事が多い若い世代でも会長ができるように会議等を減らす工夫が必要。
自治会の活性化は願いたい現状維持が困難になっている。閉塞感にならないように努力したい。
ここ十年間の推移を見ても後継者が少なく、高齢化が著しく進んでいる。現状を維持するので精いっぱい自治会の先行が心配である。
補助金だけでなく、市としてどのような支援ができるか自治会と一緒に考えてほしい。
人口減は止まらない。仕事場の増加誘致はほぼ無理ということを大前提に。コンパクトシティを目指す。市予算の減少。本音の行政。
共働きの理念は大変いいと思う。
市から各種の依頼が来るが自治会の活動とは関係ないと思うものがある。
春秋の粗大ごみに関して、決められた以外のごみを出す人や、自治会以外の人が出しているものもある。残されたごみの処分に自腹でごみを捨てているので困っている。
自治会内を高齢者が運動しているので、安全な場所に椅子でもあればよい。また、手すりがない階段もあり、そこでの死亡例もある。お願いをしても回答がない。
自治会の要望に対する回答がほしい。
各種会合で、多くの資料で次々説明されても消化不良を起こす。グループで話し合う時間か、質疑応答の時間を少しでも多くとってほしい。
農免道路の白線が見えなくなり、事故も多くなっている
公園および会員宅周辺の側溝にふたが設置されていないところが多く、子供が自転車で落ちることや、冬場の脱輪が怖い。行政のほうで蓋を設置してもらいたい。